



# 議会だより

2011

No. 84

題字は藤原小6年 <sup>あさの</sup>浅野 <sup>しょうき</sup>匠輝 さんです

平成23年4月28日（年4回発行）

発行：大分県日出町議会

電話：73-3135



桜満開（藤原西部地区公民館）

（撮影：藤井博幸）

## 目次

- 平成23年度当初予算 ..... 2
- 常任委員会 ..... 4
- 一般質問（5人） ..... 6
- 平成23年度議会構成・行政視察報告 ..... 11
- 町民の声 ..... 12

# 3月定例会

3月2日から3月23日までの22日間の会期で開かれました。条例改正や予算など承認1件、議案35件、同意1件を審議、すべて原案どおり可決しました。また一般質問には5人の議員が登壇し活発な論戦を展開しています。

## 予算委員会

6日間の日程で開催され、各項目ごとの説明に対し、納得のいくまで質問し資料要求したりと集中審議がなされました。その結果22年度補正予算、23年度一般会計当初予算・特別会計予算（7会計）議案は可決となりました。

### 主な歳入

**町税**は、総額で27億8338万円、前年比1億1721万円の減額です。法人町民税と軽自動車税は若干の増加が見込まれるものの、個人町民税は給与所得の減少により、また固定資産税は企業の設備投資の減少によりそれぞれ大きな減額が見込まれます。

個人住民税	10億	1200万円
法人住民税	22億4250万円	
固定資産税	12億4570万円	
軽自動車税	5910万円	
たばこ税	1億3600万円	
入湯税	2400万円	

**地方交付税**は、地方財政計画に掲げられた「地方交付税5千億円増額」を受け、前年と比べ1億9000万円の増加を見込んでいます。

普通交付税	22億6000万円
特別交付税	1億1000万円

**基金繰入金**は、予算が不足する場合などに基金を取り崩して会計に入れるものです。主要2基金の繰入総額は2億1876万円、前年比6956万円の増額です。

財政調整基金	1億1876万円
減債基金	1億円

**町債**は、豊岡小学校増改築事業と臨時財政対策債の増加により、増額となっています。町の借入金である町債の総額は9億8520万円、前年と比べ2780万円の増額となりました。

学校改築事業債	2億8430万円
土木消防債	2億4380万円
臨時財政対策債	4億5000万円



白熱する討論

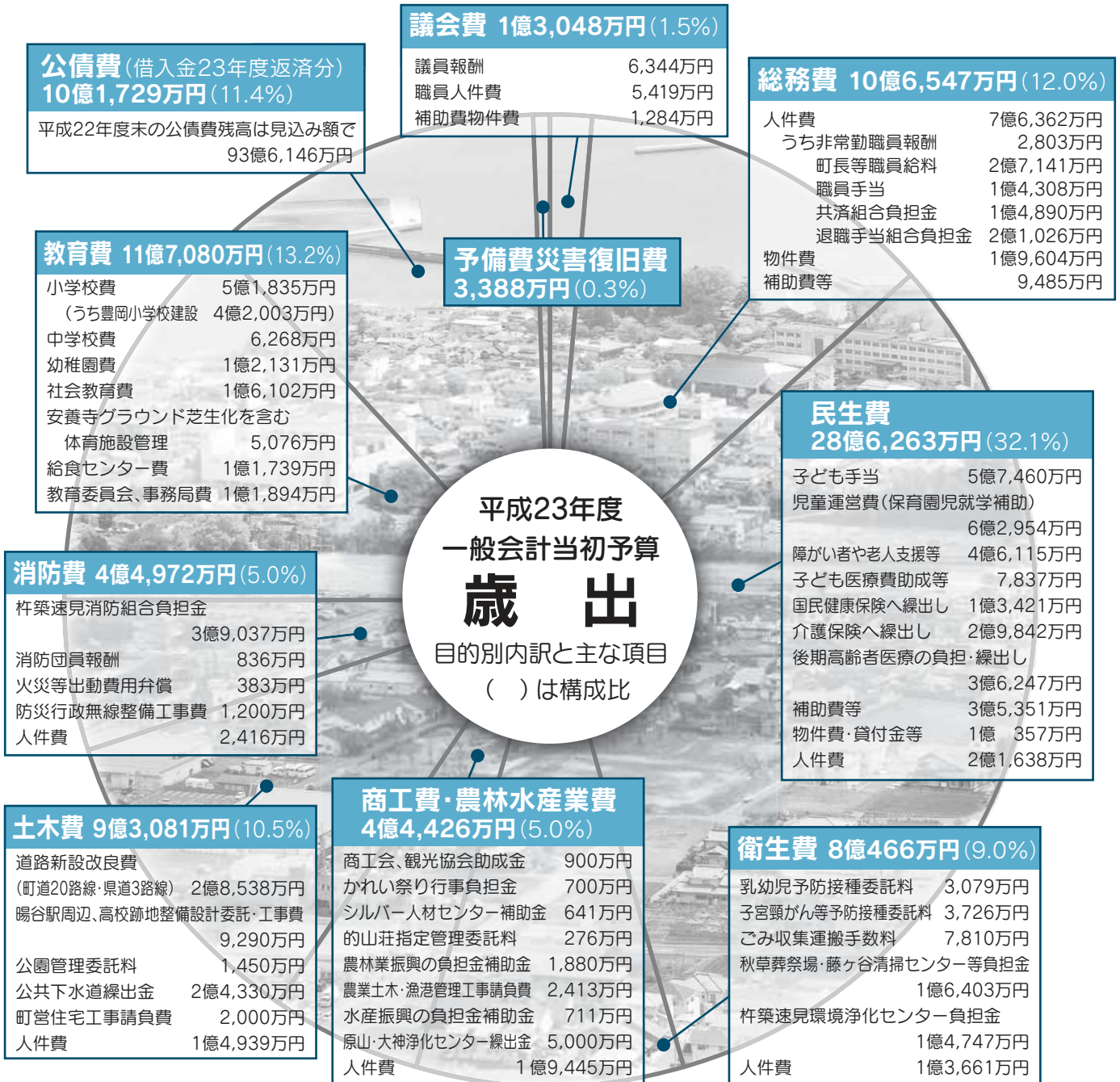
## 質問と意見

(抜粋 答弁省略)

- 22年度のプライマリーバランスが保たれなくなっています。大型事業を控え今後の対応は、町税の減少を雇用対策で対応できませんか。
- 緊急雇用は本来の目的に沿うようにすべきでは。
- 各ふれあいセンターの人員は地区と相談すべき、また豊岡地区は廃止するのですか。
- 職員研修負担金、職員の資格取得助成金が少ない。
- 公共施設整備基金積立金1億円をあえてする必要があるので。借金を返したほうがよいのでは。
- 外注の電算関係費が年々増加しているが、職員で対応はできないのか。
- 地域活性化協働推進活動等助成金の補助額にばらつきがあり不公平です。はっきりとした基準がありますか。
- 税の口座振替で収納率が向上していますか。差押えの状況は。
- 国保の資産税割30%、農家で収入が上がらない人は大変です。改善すべきでは。
- 納税組合の報奨金を増やしたらどうですか。
- 解放新聞を247部購入していますが、職員の数より多いのはおかしい。
- 的山荘の指定管理料、修繕費は適当とは思えません。
- ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンで死亡例が出ましたが対応は。ふれあいセンター・福祉センターの使用料が無料有料の基準は。
- ブックスタートを一冊から二冊に戻すべきでは。
- 認可外保育園に何らかの形で助成できませんか。
- 県立美術館の誘致を。
- 真那井、三尺山の産廃対応が中途半端になっています。
- 犬猫火葬場の建設にどう町はかわりますか。
- 牛の貸付事業が破綻、補助や貸付をする以上最後まで責任をもってください。経営や技術指導が足りませんか。
- 農業担手育成のための予算措置がされていません。
- 陽谷駅に自由通路やエレベーターが必要ですか。

# 23年度 予算

# 一般会計 89億円 (前年比2%増) 特別会計 64億円 (前年比3%増)



## 特別会計

会計区分	平成23年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	増減額
国民健康保険	29億5,587万円	28億7,504万円	8,082万円増
簡易水道	1,056万円	1,010万円	46万円増
公共下水道事業	8億6,145万円	8億 10万円	6,135万円増
漁業集落排水事業	3,761万円	3,471万円	290万円増
農業集落排水事業	4,094万円	3,726万円	368万円増
介護保険	21億7,586万円	21億4,233万円	3,353万円増
後期高齢者医療	2億5,307万円	2億6,625万円	1,317万円減
合計	63億3,536万円	61億6,579万円	1億6,957万円

医療・介護費増加  
介護保険はサービス開始以来利用者が増え、23年度も増額、国民健康保険も大幅増、特別会計の合計は50億円を越えました。このまま増え続けると、後利用料や保険料にも影響を及ぼすことが懸念されます。介護予防や成人病予防の各種施策の推進は、これからの大きな課題です。

# 常任委員会

## 総務

### 議案の審査結果

#### 日出町暴力団排除条例の制定

町民、事業者の協力を得ながら、県、警察その他関係団体と連携を図り、暴力団の排除の施策や情報提供などの取り組みを促進するため、大分県暴力団排除条例の施行に併せ条例を制定します。

#### 日出町公共施設整備基金条例の制定

老朽化している中央公民館、町営体育館、給食センター、旧役場庁舎などの町内公共施設の建て替えや大規模修繕など、将来の財政負担に対処するために、公共施設整備基金を設ける条例を制定します。

#### 日出町行政組織条例の一部改正

総務課と企画振興課の広報公聴統計部門とふれあいセンター事務を相互に入れ替え、事務分掌の見直しを行います。また、業務の効率化を図るため、入札・契約・検査部門を都市建設課に設置します。職員の給与に関する条例の一部改正

依然として厳しい財政状況にあることから、22年度に引き続き、23年度も全職員の給料月額5%、また町長12%、副町長および教育長8%を給料月額から減額します。

#### 日出町消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部改正

近隣自治体との均衡を保ち、更なる活動の活性化を図るため、消防団員が火災・警戒などにより出動した場合の費用弁償を、1回あたり1500円から1800円に改定します。



緊急時に備えて消防団員も日々訓練（出初め式放水訓練）

#### 日出町用品調達基金の設置及び管理に関する条例の一部改正

昭和48年から事務用品などの購入は、300万円の基金を設置し、その基金から集中購入してきました。その際、各課に5%上乗せで請求、また5%上乗せ分から欠損金を差し引いた運用益とされる金額を一般会計に戻し入れていました。この煩雑な事務の簡素化を図るため基金を廃止し、一般会計に戻します。委員会は基金300万円は、

雑入ではなく、何らかの別の特定の基金で運用するなど、慎重に取り扱うよう要望しています。

その他、特別会計条例、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正と広域組合議会議員の削減に関する規約の変更を審議しています。以上10議案を可決しました。

#### 税過誤納の返還

固定資産税および国民健康保険税の資産割に係る部分の課税誤りによる徴収金のうち、還付不納となる過誤納金に相当する額は、過誤納返還金を交付すること、納税者の被った不利益を補てんし、税負担の公平の確保と行政に対する信頼の回復を図るため、日出町税過誤納返還金交付規則を制定します。

#### 豊岡ふれあいセンター分館

施設を閉鎖し取り壊す方向で協議を進めていきます。近隣自治体の要望を受け、当面、自主的な運営で使用してもらう方向で調整を行っています。

## 産業建設

### 議案の審査結果

#### 日出町地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の制定

日出町地区において団地造成時より策定されていた建築協定が一定の期限を過ぎ、廃止となっていたのを地区住民の要望によりあらためて整備計画を決定するものです。既存の陽谷駅周辺地区整備計画を定めた条例に追加して新しい名称の条例とします。

#### 日出町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

使用されていない県職員住宅（辻間団地東区）を購入し町営住宅とするもので9部屋があり5月から入居の募集をします。

#### 町道の認定

空港道路建設時に工事に伴い造られた藤原地区の道路4路線を県から管理を委託され町道とします。

今後、住民の方々のいろいろな意見を聞きながら対応していきます。

# 常任委員会

致で可決しました。

## ハウス農家に補助

A重油の急激な価格高騰を受け、ハウス農家から補助金申請の陳情が出されました。今年度限りの措置との条件で、協議の結果速やかに対応するよう執行部に要請しました。補助金は過去平均価格との差額分を町とJAで負担します。

その他、水道事業の公的借入金の利息の借替え

が報告されました。今回は年率6%以上が対象となり対象額は約1億3千万円で、約3千万円の効果があります。

## 社会厚生

### 議案の審査結果

事務の委託に関する協議  
(佐伯市・豊後大野市)

「おおいた広域窓口サービス」として、現在9市



町営となった旧県職員住宅

町との協定によって、戸籍、住民票、印鑑証明などの請求ができるようになっていきます。今年の7月より新たに佐伯市と豊後大野市が加わるため協議により規約を定めるもの

### 工事請負契約の締結

建築後、32年経過している川崎小学校校舎の耐震補強工事と外壁補修工事、防水工事を行うもので、工期は児童の安全面を考え夏休みを中心に行い10月7日までとなっています。

以上全会一致で可決しました。

### ペット火葬場建設に反対する請願書

三尺山に予定されているペット火葬場建設に反対する請願書が地元より提出されました。しかし、反対する法的根拠がないのが現状で、まずは地元説明会を開催してもついで元が知りたい内容や情報を得られるように担当課から業者に働きかけるよう依頼し、継続審査としました。

### ワクチン接種

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種に



新しく完成した川崎保育園

より全国で死亡例が6例発生しました。国でワクチン接種と死亡との因果関係の検討会が開催されているので、その結果が出るまで接種を一時見合わせることにしたとの報告を受けました。(現在は再開しています)

### 新園舎視察

新しく完成した川崎保育園の新園舎を町長と委員で見学しました。建設にあたり県が7423万

円、町が3711万円、の補助金を拠出しています。以前は駐車スペースが少なかったため、送迎時には周辺が混雑していましたが、周辺道路を含め駐車場の整備ができたので今後は園への進入などもスムーズにできます。施設内は、体の大きさに合わせたトイレやシャワールーム、部屋の仕切りを取るなど大きなホールになるなど最新設備が大変充実しています。

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

**ペット火葬場設置  
計画に町の考えは**

問

**規制する法令が  
ありません**

答

佐藤 隆信 議員



**問** 三尺山でペット火葬場建設が計画されています。地元地域では反対運動が起こり、議会にも設置反対の請願書が提出されています。町に設置の申し入れがあったのか、また建設計画の詳細は把握していますか。

**生活環境課長** 事業者から農地の転用申請書が農業委員会に提出され、設置に関して法的な規制があるかどうか町に問い

合わせがあった時点で確認しました。場所は大字新貝、スレートぶき平屋建て20㎡に火葬場を収める計画ということです。

**問** 他市町村からの火葬物の持ち込みはありますか。また、反対している設置場所周辺の住民の意向調査を町、事業者は行っていますか。

**生活環境課長** 農業委員会の担当者を通じ事業者に問い合わせをしましたが、法的規制がないということもあり、持ち込みに関しての回答はありません。また、意向調査はしていません。商業行為に関する意向調査は、事業者がするべきだと考えています。地元の方々



人口3万人を目標に（仁王山より川崎尖を望む）

の意向は、区長ほか数名の方がみえて規制などの相談を受けた段階で確認しています。

**問** 地元地域は建設に反対です。町は規制する法令がないから知らないというのでは問題です。町の考えは。

**生活環境課長** ペット火葬場を含め霊園事業に関して国の法令はないので、町としても現段階では独自に規制しようとは今のところ考えていません。事業者と地域住民が互いを尊重し、十分話し合いをしていただきたいと思います。

**町長** 地元の方々の気持ちを十分考え、業者との仲に立つて仲介の労をとることはやぶさかではありません。しかし、町がどうしろこうしろという立場に中々なりにくいという点は是非ご理解いただきたいと思います。

**問** 町長は度あるご

**人口3万人の  
目標は何年頃か**

とに人口3万人にしたいと言っていますが、何年ごろを目標にしていますか。

**企画振興課長** 第4次日出町総合計画で2015年に目標人口3万人を目指していますが、厳しい社会情勢の中で今後の伸びが期待できないのが現状です。

**問** 人口を増やすためにも、新たに町営住宅の建設や土地取得し団地の造成、また地場産業の強化・発展をするべきですが。

**都市建設課長** 現在そのような計画はありませんが、情勢を見極めながら考えなければならぬ課題です。

**商工観光課長** 地場産業の活性化は非常に重要だという認識に立ち、今後時代の流れに即した地場企業の振興に取り組んでいきます。

**町長** 歩は遅々としても目標はしっかりと掲げて、積極的に町政のあらゆる部門を通じて頑張りたいと考えています。

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

**問** 県民体育大会が別速杵で開催

**答** 6競技を予定しています



後藤 佑 議員

**問** 日出町は他市町村と比べ、スポーツが盛んです。今後も町民の体力、健康には配慮しながら取り組んでいかなければならないと考えています。そのような中で、今年度の県民体育大会の会場が別府ブロック、速見郡も数種目実施の予定です。町の種目と会場は

どうなっていますか。

**生涯学習課長** ソフトボール男子が平原、糸ヶ浜、住吉グラウンドの3カ所で、なぎなたが町営体育館。アーチェリーが安養寺グラウンド、綱引きが陽谷高校体育館です。またグラウンドゴルフは黒岩公園、ゲートボールが保健福祉センターで開催が計画されています。予定では6競技8会場があります。

**問** 種目にもよりますが用具や設備などで町が対応しなければならぬものがありますか。

**生涯学習課長** 各競技の準備や実施は、県の競技団体がすべて執り行います。町は責任を持取りまとめを行います。競技団体が全て準備などは行うということで打診を受けています。

**問** 各会場の設備など万全を期して選手にプレーをしていただきたい。設備や用具など競技団体が準備できないものを町で購入する考えはありますか。

**生涯学習課長** 各競技団体に持ち込みをしていただきますが、中には準備できないものもあると考えています。各会場の使用料の減免を考えたいですが、ソフトボールの内外野フェンスや綱引きのマットなどは将来的には購入していきたいと考えています。

**問** 大分県体育協会から各市町村に補助金が支給されているとおもいますが。

**生涯学習課長** 県の実行委員会に確認しましたが、各競技団体の県本部にいくらかの運営資金と

して補助金を出すということで、市町村には特に補助金は出さないとのことです。

質問を終えて  
県体実施で日出町のPRができると思いますので期待しています



県民体育大会が日出町で開催（昨年の総合開会式の様子）

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい



工藤 健次 議員

**問** 職員の給与体系見直しは

**答** 総力を挙げて対処します

**問** 経済情勢や財政状況が厳しさを増す中、職員の高給やわたりが問題となっております。国は地方公務員法の趣旨に反する疑いがあるというところで、わたりの制度のある地方公共団体に対し適正化を求めるとともに職員給与の情報公開を徹底するよう助言しています。この問題について町長の考えをお聞かせ下さい。

**総務課長** わたりとは、給料表において職務、職責に応じた級より高い級に格付けすることです。総務省の調査で、22年4月1日現在で、大分県下18市町村中12市町村でわたりがあり、日出町もその中に含まれています。県は該当する市町村に対し級別職務分類表の職務を明確に分類し、給与の級の格付けを国の示す基準を超えないように、給与構造の是正を求めています。町としては今、職務分類表の適正化に向けて案を作成しているところで

**町長** 他の市町村も検討段階に入って具体的な結果を公表しており、町もできるだけ早くきちっとした方向をお示しする時期であると思っております。

**問** 町のラスパイルス指数は。

**総務課長** ラスパイルス指数とは、地方公務員と国家公務員の平均給与額を国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経験年数別に比較し、国家公務員を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数です。



イベント時の臨時駐車場として (大田公園)

22年4月1日現在、町は指数が100・9で国家公務員の水準を上回っており、県内18市町村中6番目の水準にあります。

**問** 係長以上の構成比は。

**総務課長** 1級から7級まであり、一般行政職の1級が14人・2級7人・3級29人・4級8人・5級42人・6級43人・7級4人で、県からは5級以上の在籍する数の多さを指摘されているところで

**町長** 全国的には高い割合になつていのは事実で、23年度中には、新たな給与体系の見直しを図ります。

## イベント実施時の駐車場について

**問** 日出陽谷高校の跡地には、ケーズデンキや亀の井ホテルの進出が決定し工事が始まりますが、イベント時に駐車場として使用していた部分で使用できなくなります。駐車場の確保やイベント内容見直しの問題について町長の考えは。

**町長** 駅周辺の駐車場整備や他地域での対応など、イベントに支障がないよう内部検討してまいります。

**商工観光課長** 駐車場の確保のための一つの方法として、協賛イベントの開催時期をずらしたり、場所を変えたりという方向で検討してもらっています。

駐車場は、2008台分が使用できなくなるわけで、町営体育館・公民館周辺駐車場と臨時駐車場ということで大田公園を確保しています。

## 質問を終えて

わたりの早急な是正を



# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

**「健康づくり推進条例」を制定せよ**

問

**策定も視野に努力します**

答



森 昭人 議員

**問** 22、23年度と当初予算で国保・介護保険特別会計が、合計で50億円を超えています。年々増え続ける医療と介護事業費を町ではどのように認識していますか。

**健康増進課長** 保健師

や介護士、栄養士が生活習慣病予防、健康相談、栄養指導など介護予防を実施していますが、景気の低迷で非自発的退職者の国保加入が増加、また



介護予防事業（上仁王いきいきクラブ）

高齢化により医療費や介護給付費が年々増え続けています。健康診査の受診率向上や各種健康教室、介護予防事業のより一層の充実を図り、医療費や介護費の効率適正化にさらに努めていきます。

**「健康づくり推進課」の設置**

**問** 町民の方々の健

康づくりと併せて、国保・介護保険会計の抑制は現状の組織と施策では対応できていないと考えています。特に保健師10人程度では、2万8千の人口に健康指導は行き届かないと考えます。健康増進課と福祉対策課を統合し、乳幼児から高齢者まで一体的に健康と食育に専念する係か、「健康づくり推進課」を新設すべきと

考えますが。

**健康増進課長**

18年に

組織再編しましたが、健康増進課と福祉対策課の分掌で、乳幼児期から高齢期までの仕事内容が分かれていきます。この5年間、介護、国保、健康づくり、子育て支援と支援専門員の増員を図ってきましたが、制度の変更や高齢化、ニーズの多様化に対応するためには、更なる組織の見直しを行う時期に来ているのではないかと考えています。十分検討したいと考えています。

**町長**

鋭意この問題は検討していきたいと思いますが、課をいくら作ってもなかなか課題があります。その中で、今の体制で役職の皆さんが統括・指導能力、機動力をしっかり発揮して連携していかなければならぬとも思い、激励もしています。

**問**

策定された「いきいき日出町 健康・食育プラン」は、年度毎の目標や具体的な取り組みもなく、実行・検証・拘束力に乏しい。町の責務

や町民・地域団体・事業者の役割を盛り込み、協働による健康づくりの仕組みや町の具体的な施策、健康と食育に関する安心安全の確保に必要な事項を定める「健康づくり推進条例」を制定すべきと考えますが。

**健康増進課長**

このプランは26年までの計画期間ですが、実績状況を見て、条例の策定も視野に入れながら、努力していくことが重要であると考えています。

**町長**

条例を作る作らないというのはなかなか課題がありますが、健康増進運動に取り組むことは大変重要だと思います。今後の課題として十分自覚して、職員の中でも何か目標を定めて徹底できるように方向づけができればと思います。

**質問を終えて**

現状では健康づくりも医療・介護費の抑制も前進しない

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい



**問** 高齢者にもワクチン接種助成を

**答** 状況を見ながら検討していきます

**池田 淳子 議員**

**問** 2月1日から日  
出町でも、子宮頸がん、  
ヒブ、小児用肺炎球菌の  
3種類のワクチン接種公  
費助成が始まりました。  
小児とともに高齢者も肺  
炎を起こしやすく、起こ  
すと重症化し死亡原因の  
上位を占めています。肺  
炎の原因の半数近くは肺  
炎球菌によるもので、ワ

クチンの予防接種の有効  
性が見直されていますが、  
接種費用は6千円から9  
千円かかります。接種費  
用の公費助成に取り組み  
計画は。

**健康増進課長**

高齢者

への肺炎球菌ワクチン接  
種も予防接種法の位置づ  
けではなく、接種者自身  
の判断責任において接種  
を行う任意接種であり、  
また、インフルエンザの  
ようにまん延することを  
防ぐものではなく、個人  
が重病化になることを防  
ぐために行うものです。

さらに予防接種を行う  
場合は必ず副作用など慎  
重に判断する必要があり、  
公費助成は21年9月議会  
で陳情書が提出され継続  
審査の結果、22年3月議  
会で不採択になっていま  
す。しかし、小児用肺炎  
球菌ワクチンはほとんど  
の自治体で実施している



いつまでも元気な高齢者で（グラウンドゴルフ風景）

ことから状況も変化して  
います。高齢者への対応  
については他の市町村の  
状況なども考慮しながら  
検討していきたいと考え  
ています。

**問**

高齢化が進み、  
医療費の占める割合が大  
きくなる中、予防施策を

選択することによって医  
療費も抑えることができ  
るのではありませんか。

**町長**

県下では6市町

で行っていると資料で認  
識しています。私どもも  
十分内容を検討してい  
て、接種費用の想定や接種率、  
また接種年齢など、予算

がどのくらいかかるか試  
算もしています。今年の  
4月から杵築市が始める  
ということもあり、医療  
圏も近くであることを言  
め、医療費の大きな抑制  
につながるということで  
あれば、十分慎重に検討  
し、早い時期に結論が出  
ればと思っています。

質問を終えて  
医療費抑制に積極的  
な取り組みを

# 平成23年度議会構成決まる

3月23日に行われた平成23年第1回定例会最終日において、各委員会の正副委員長が決まりました。

<b>議長 城 美津夫</b> <b>副議長 後 藤 佑</b>		<b>議会運営委員会</b> ◎佐藤二郎 ○佐野故雄 安部三郎 白水昭義 佐藤克幸 後藤 佑 【活動内容】 町議会の円滑な運営を図るため、議事の運営その他必要な事項を協議します	
◎は委員長 ○は副委員長			
<b>予算常任委員会</b> ◎佐藤克幸 ○工藤健次 議長を除く14名で構成 【審議内容】 一般会計・各特別会計 企業会計の当初および補正予算	<b>社会厚生常任委員会</b> ◎白水昭義 ○藤井博幸 佐藤克幸 熊谷健作 後藤 佑 【担当課】 住民課・福祉対策課・健康増進課・生活環境課・教育委員会	<b>産業建設常任委員会</b> ◎安部三郎 ○工藤健次 笠置久夫 佐藤隆信 森 昭人 【担当課】 商工観光課・農林水産課・都市建設課・上下水道課・農業委員会	<b>総務常任委員会</b> ◎佐野故雄 ○田原忠一 城美津夫 佐藤二郎 池田淳子 【担当課】 総務課・財政課・会計課・政策推進課・税務課・監査委員事務局
<b>杵築速見環境浄化組合議会議員</b> 佐野故雄 後藤 佑 森 昭人 工藤健次 藤井博幸	<b>杵築速見消防組合議会議員</b> 佐藤二郎 熊谷健作 白水昭義 田原忠一 安部三郎	<b>別杵速見地域広域都市町村圏事務組合議会議員</b> 笠置久夫 佐藤克幸 城美津夫 佐藤隆信 池田淳子	<b>議会報編集特別委員会</b> ◎森 昭人 ○池田淳子 熊谷健作 田原忠一 工藤健次 藤井博幸
<b>大分県後期高齢者医療広域連合議会議員</b> 佐藤二郎	<b>議会から選任する監査委員</b> 熊谷健作		

## 行政視察

### 総務常任委員会

日時 23年2月1日～2日

研修先 熊本県御船町

参加者 佐賀県嬉野市

委員長 森 昭人

副委員長 安部 三郎

委員 笠置 久夫

委員 佐藤 隆信

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次

委員 工藤 健次



特色ある議会づくりに取り組む御船町

報告会を実施、議会便りも毎月発行、毎週、全員協議会、本会議、常任委員会、議会運営委員会を開催し、全議員が毎月20日は議会に出向いているという事です。

佐賀県嬉野市 日出町と同規模の人口、温泉とお茶の町。議会では基本条例を制定し、情報公開や議会活動への多様な市民参加の推進、議員の自己研鑽と資質の向上に努めています。また、観光客減少をにらみ、市の活性化のため議会自らフレット事業を載せたパブリックコメントを作成、全国1727の自治体に郵送しています。この取り組みにより、これまで70件の

御船町、嬉野市とも議会基本条例を制定するなどのこれまでの取り組みは、議会の活性化を図るため特別委員会を設置し、議会改革を進める日出町になりました。しかし、現在中み状態で、基本条例の参加者も減少しているという事です。議会の存在を主張するため、議会の改革ではなく、町民の方々の福祉向上のために行うという事をしつかり認識し、今回の研修を参考に、今後も議論

# 第二の人生

日出中央区

堤 つみ

公 たかし



3月11日に発生した東日本巨大地震は過去に例をみない規模の大災害となり多くの方が被災されました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。苦難を乗り越え、早い復興をお祈り申しあげます。

私は定年後100坪の土地で農業のまねごとを始めその後、友人たちの世話で藤原南部地区の遊休地を借りて本格的な野菜づくりに取り組みました。

最初は10a位でしたが近辺の休耕地を作るうちに今では40a程の耕作面積になりました。ここ数年は異常気象の影響により長雨にあつたり、猛暑干ばつにあつたり、栽培は順風満帆とはいかず悔しいこともあります。販売グループに誘われ

て、作った野菜が自分の希望価格で売れると云う楽しみを味わうようになりました。農業には希望があります。

農業をやりたいと云う方がかなりいます。行政が積極的に作り手を募集し、指導してあげれば遊休地の活用になり農業は活性化すると思います。

現在、私のところに農業を覚えたいと定年退職した62歳の男性が別府から農業研修に来ています。この冬は寒い日が続き、ヒヨドリの被害も多く、大変でしたが百姓は大変やなと言いながら楽しく初歩から取り組んでいます。

私も体力と気力が続く限り頑張ろうと思つてます。

工藤 昭氏 (74歳)  
(藤原赤松)

## 議会の今後の予定

- 6月 9日 定例会初日
- 13日～14日 定例会中日
- 15日～16日 常任委員会(予算)
- 17日～20日 常任委員会(所管)
- 21日 常任委員会(予算)
- 22日 特別委員会
- 24日 定例会最終日

## 議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。  
あなたの身近なこともかもしれません。  
簡単な手続きで、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

## 編集後記

東日本大震災により被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますと共に犠牲になられた方々に哀悼の意を表します。

この未曾有の災害を教訓に、国民一人ひとりが防災に対する考えを変え、また行政も災害発生時の対応マニュアルなどの見直しを早急に行う必要があります。

備えあれば憂いなし、復興には長い年月がかかりますが継続的な支援を。

(工藤 健次)

- 編集委員長 森 昭人
- 副委員長 池田 淳子
- 委員 熊谷 健作
- 委員 田原 忠一
- 委員 工藤 健次
- 委員 藤井 博幸